

第17号 2019年10月発行

あづみへず通信

●年2回 半期毎の再生協の主なニュースなどを掲載します。(10月・3月発行)

発行

安曇野市農業再生協議会事務局
(安曇野市農林部農政課内)

TEL 0263-71-2000
FAX 0263-71-2507



ホームページアドレス
[http://
azumi-nou.com/](http://azumi-nou.com/)



生産振興事業

問い合わせ：電話71・2428

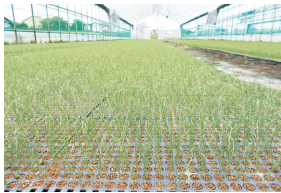
●玉ねぎの生産振興に 取り組んでいます

安曇野市農業再生協議会では、稲作に代わる転作作物の一つとして、玉ねぎの生産振興に取り組んでいます。

平成24年から、播種から出荷までの玉ねぎ機械化一貫体系の確立に取り組み、平成29年にはその体系がほぼ確立されました。機械化一貫体系の確立により、作業の軽減化、栽培への新規取組および生産規模の拡大が可能となっています。

平成28年度には、JAあづみにおいて、国の補助事業を活用し、「玉ねぎ共同乾燥調整施設」が建設され、これに伴い、今年度は、栽培面積が45haまで拡大しました。

現在、JAあづみでは、機械化栽培品種として、「ネオアース」を推奨していますが、今後面積拡大を行う上で作期分散が必要となることから、市再生協では、ネオアース以外にも安曇野地域に適した品種の選定を進めています。



▲次年度に向けた機械定植用苗の育苗風景(9月12日現在) 順調な芽だして青々としています。

玉ねぎの機械化栽培に 取り組んでみませんか

玉ねぎ機械化栽培の推進に係る補助対象

①玉ねぎ専用機械の購入に係る経費 ※実施面積が、おおむね1ha以上か、または補助事業導入後3年以内に1ha以上となることを見込まれること。

※補助内容の見直しを行い、「玉ねぎ栽培マニュアル」(機械化一貫体系) (市再生協 平成30年2月発行) に記載の機種が、補助対象となりました。

②機械定植用苗の購入に係る経費 補助率 3分の1以内

その他 購入前に申請していただく必要があります。

「玉ねぎ機械化栽培の栽培マニュアル」(機械化一貫体系)

玉ねぎの機械化一貫体系の普及による農家所得の向上を目指し、機械化栽培のマニュアル配布を行っています。必要な方は、農政課生産振興担当までご連絡ください。



▲玉ねぎ機械化栽培の栽培マニュアル

第22回安曇野玉ねぎ祭り

令和元年6月15日(土)・16日(日)には、毎年恒例の「安曇野玉ねぎ祭り」を開催しました。

今年度は雨天での開催となつてしま

ましたが、安曇野産玉ねぎのファンの皆様、毎年収穫体験を楽しみにされている家族連れの皆様など、多くの方にお越しいただきました。

今度も、安曇野産玉ねぎの地産地消の場、また、魅力を多くの方にお伝えする場として、安曇野玉ねぎ祭りを盛り上げていきます。



▲収穫体験にお越しいただいたご家族

●麦栽培での雑草防除について

麦栽培で高い収量、品質を安定して確保するためには雑草対策が欠かせません。雑草が繁茂すると麦の育成が抑制されて収量に影響し、雑草種子の混入による品質低下や、収穫作業効率の低下を招きます。

また、経営所得安定対策についても、交付の対象外となつてしまう場合もあります。注意が必要です。

問題となっている主な雑草

①「ヤグルマギク」
冬生一年生のキク科帰化雑草。

◎対策のポイント

- ・ 麦収穫後に代かきをし、水張りを二カ月以上続けて種子を減らします。(半月程度の水張りでは効果が期待できません)
- ・ 水張りだけでは防除できないので、麦播種後に土壌処理除草剤を散布しましょう。

②「ネズミムギ」

イネ科の一年生雑草。別名イタリアンライグラス。繁殖力が強く牧草に用いられています。

◎対策のポイント

・麦と同じイネ科のため、除草剤での対応は播種後の土壌処理除草剤となりますが、抑えきれないことが多いので左記の対策についても検討してください。
・連作をやめて水稲を取り入れましょう。(二作以上作付けすると効果的です。)

・連作をやめて、大豆などを作付けしてイネ科用除草剤を使用しましょう。
・収穫後の休閑期に非選択性除草剤を使用しましょう。

市では、麦収穫後のほ場に湛水することで、栽培環境の保持・改善効果を検証する補助事業を実施しています。連作障害・雑草対策として取組みについてご検討ください。



▲雑草発生圃場の様子
上段：ヤグルマギク
下段：ネズミムギ

使用する薬剤等については、松本農業改良普及センター(40-1889)や、お近くのJAへお問い合わせください。

販売促進事業

問い合わせ：電話71-24330

魅力的な「あづみ農村体験メニュー」をウェブページにて情報発信

インターネットの普及により、「見る」「知る」が容

易になった現代では、「触れる」「感じる」といった体験型観光が人気を集めています。安曇野には、豊かな自然を生かした様々な体験メニューが存在することから、体験や観光を取り入れた農業経営の促進を図るため、グリーンツーリズムの普及に取り組んでいます。

グリーンツーリズムとは、農山漁村地域において農業、自然、文化、地域の人々との交流を楽しむ滞在型余暇活動のことで、地域外からの交流人口の増加が、地域での消費拡大をもたらし、農村全体の活性化につながると期待されています。

市では、安曇野を訪れる観光客への情報提供を目的に、農業体験など、自然や文化に触れることができる体験メニューを紹介するウェブページ「あづみ農村体験」を制作し公開しています。掲載している情報は随時更新し、安曇野らしい農村体験メニューをどんどん紹介していきます。

また、安曇野市での農業体験型観光の一例として、都市部の中学生・高校生の教育旅行を受け入れる「農家民宿事業」を実施しています。県外の子どもたちに安曇野での田舎暮らしを体験してもらい、その魅力を伝えるとともに、農家の副収入獲得にもつながっています。ぜひ一緒に、子どもたちとの交流を楽しみませんか？

農家民宿の受け入れ農家、ウェブページ「あづみ農村体験」への掲載については随時募集していますので、お気軽に農政課マーケティング担当へお問い合わせください。

URL <http://azumi-farmactivity.com/>



▲あづみ農村体験ウェブページ

信州安曇野

第7回

新そばと食の感謝祭 農林業まつり

「極上の安曇野を味わう。」をメインテーマに、おろしたてのワサビを添えた香り高き新そば、豊かな大地と清らかな水で育った、米・リンゴ・野菜・地酒・おやき・スイーツなど「美味しい安曇野」が味わえる収穫感謝祭です。

今年もたくさんの野菜やフルーツで飾った「豊穡宝船」が会場に登場します。まつりの2日目(最終日)には、船の野菜・果物等を無料配布しますので、皆さまお誘いあわせの上、お越しください。

日時 11月9日(土)・10日(日)

両日とも午前10時から午後4時まで

場所 穂高神社特設会場

(南・北神苑及びその周辺)

なお、当日は会場周辺の交通で混雑が予想されますので、シャトルバスの運行を予定しています。シャトルバスまたは、JR大糸線をご利用ください。



安曇野の農産物を応援する妖精「みずん」からのお知らせ

今年も「ゆるキャラグランプリ」にエントリーしたよ♪
このQRコードから投票ができるよ♪



投票期間は10月25日(金)18時までで、毎日1回投票することが出来ます。みなさまの温かい応援をお願いします。

集落支援事業

問い合わせ：電話71・2429

●野生鳥獣被害防止対策について

安曇野市の有害鳥獣による農作物被害は、東山山麓ではシカ、イノシシの害、西山山麓ではサル被害が深刻な状況で、近年、クマやイノシシによる被害も発生しているため、効果的な対策を講じることが急務です。平成30年度の有害鳥獣による農水産物被害額は1600万円を超える状況になっています。集落ぐるみで設置する獣害防護柵への資材支給や個々の農家が講じる対策への支援もありますので、活用ください。

サルによる農作物被害を防ぐために

ニホンサルは丹精込めて作った農作物を荒らすにつくき動物ですが、森の生態系の重要な一員です。サルの特徴を理解し、うまく棲み分けていくことが大切です。人里をサルのエサ場にしないために、廃棄果実などの誘因物を片付け、集落や農地まわりの藪を刈り払いし、サルが出没しにくい環境を作りましょう。

◎サルの生態を知りましょう

▼何でも食べる雑食性▼オスのボスサルはいません。群れのリーダーはメス（母系社会）▼行動する時間は夜明けから日没まで▼五感は人間とほぼ同じ▼記憶力がよく味やエサのある場所を覚え、一度味わった恐怖体験は忘れない▼運動能力が高いが石をつかんで投げることができない



▲そば畑のわきを歩く猿

◎被害対策

① 追い払い

サルを見かけたなら追い払いましょう。サルに農地は危険な場所だと学習させるため、出没したら必ず追い払うことが重要です。

モンキードッグについて

サルを追い払うことを目的に訓練された「モンキードッグ」によるサルの追い払いを集落で取り組んでいます。主に西山山麓の地域で取り組んでおり、被害の防止に寄与しています。

② 防護柵の設置

追い払いだけでなく、農地への侵入を防止したり妨害する対策が必要です。市では防護柵設置に対しての支援がありますので活用ください。（※通電していない電気柵は逆効果になるので電気を流さない場合は撤去しましょう。）

③ 廃棄果実などの片付け

廃果もサルのエサ場となってしまう。柿や栗などはすべて収穫し、放置された木は伐採しましょう。出荷できない果実や野菜は放置せず、早めに埋めるか廃果置き場に覆いをして、サルが農地に近づかないようにしましょう。

安曇野市野生鳥獣被害防止対策補助金

市内に居住し、かつ、市内において農林水産物を栽培又は飼養する者で、野生鳥獣から農林水産物の被害を防止するために設置する施設資材等を購入する経費に対し補助金を交付しています。

① 侵入防止柵（電気柵、金網柵及びネット柵）の設置に係る資材購入費の補助

補助率等 2分の1以内で限度額10万円（※1）

② 侵入防止装置（※2）の購入費の補助

補助率等 3分の1以内で限度額8万円

※1 隣接した複数の耕作者が共同で柵を設置する場合は、柵を設置する耕作者に当該限度額を乗じた額を上限とします。

※2 次の装置に限ります。

電子防鳥機（バードガード、トリサッタ）

大型回転体による防鳥機（トリエモン）

音波による鳥獣駆逐装置（ガドリオン、バリアートー

ン）

③ その他支援

市再生協エアガン購入費補助金

補助率等 購入費の3分の1以内で限度額1万円

対象者 農業を自ら経営する個人又は組織等

● 荒廃農地対策について

市では荒廃農地を解消し、農地の再生利用及び有効活用に取り組む農業者又は農業団体を支援しています。解消経費10アル当たり5万円を補助金交付していますので活用ください。

明科天王原では、荒廃農地を解消しワイン用ブドウの作付けが行われています。平成29年には、本格的に収穫が始まり、そのブドウを醸造したワインが、日本ワインコンクールで入賞しました。地権者の理解と協力や、耕作者、関係者の尽力が報われ、大変喜ばしく感じます。

そして、天王原ワインの夢は拡大し続いています。



▲受賞したワイン

お知らせ

●各直売所等イベント

直売所名	TEL	イベント名	開催日	内容
安曇野スイス村ハイジの里	87-0812	果物祭り	10月26日(土)27日(日)	旬の果物が勢揃い! 各種イベント盛りだくさん
		りんご祭り	11月16日(土)17日(日)	
あづみ野ふる里市	77-7530	りんごフェア	11月23日(土)24日(日)	贈答りんご発送、りんご詰め放題・「オープン箱・袋」詰め放題
ファーマーズガーデンあかしな	62-1230	周年祭	11月16日(土)17日(日)	旬のりんご、ながいも特別販売、その他イベント盛りだくさん!
あぐり資材センター川手	62-4912	明科・生坂支所 JA まつり 2019	11月9日(土)	食と農にまつわるイベント盛りだくさん! みんなで育てた安曇野産のもち米を使って餅つき体験とお餅の振る舞い
ほりがね物産センター	73-7002	ほりがね秋の振興祭り(実行委員会主催)	10月19日(土)	ステージイベント(キッズピクス・堀金小合唱部など)・大福引抽選会
		物産センター感謝祭	11月17日(日)	農産物をお買い上げの方に抽選で農産物のプレゼント・豚汁、ポン菓子、綿菓子などの無料配布等
Vif穂高	81-5656	Vifの新そば祭り	10月19日(土)20日(日)	地元安曇野産の新そばの特売・秋の味覚野菜(生産者の果物) 特価販売
		Vifの安曇野まるしえ・牧大根まつり	11月9日(土)10日(日)	地元伝統野菜「牧大根」の販売と漬物講習会・生産者協議会による農産物の対面販売・加工品の店頭販売
		感謝デー・Vifパン祭り	12月15日(日)	こだわりのパンと創作パンの特価販売・お汁粉サービス・加工品特価販売
		年越セール	12月17日(火)~31日(火)	正月餅販売・年越そば販売(30日・31日のみ)・おせち販売(29日~31日)

●「農業用ハウス強靱化緊急対策事業」事業要望を募集します

対象事業

既存ハウスへの台風・大雪等による被害防止対策に要する経費(ハウスの補強、防風ネットの設置、換気扇や融雪・加温装置の設置等)

補助率 2分の1以内

補助要件

① 今後10年以上の利用が見込まれるハウスであること。

② 園芸施設共済または民間の建物共済や損害補償保険等に加入すること。

その他

実施を検討される方は、農政課生産振興担当へお問合せください。



●令和2年度長野県農業大学校入学生募集

長野県農業大学校(長野市松代)では、令和2年度入学生の募集を行っております。

募集学科(コース)は次の通りです。

●総合農学科実践経営者コース(卒業後すぐに自立し企業の農業経営者を目指す)

●総合農学科農業経営コース(作物・野菜・花き・果樹専攻)

●実科及び研究科(果樹・野菜花き・畜産・南信農業)願書の受付期間・試験日・合格発表は、県公式ホームページ、または長野県農業大学校公式ホームページ(<http://www.nodai-nagano.ac.jp/>)をご覧ください。電話026-278-5211にお問い合わせください。

農家の皆さんへのお願い

農作業等で農地から道路へ出る際には、交通安全と環境美化のため、次のことに注意ください。

- ① 農作業中車両は、馬入れに駐車しなさい
- ② トラクターなどで農地から公道に出る前には、必ずタイヤに付着した土や泥を落としましょう
- ③ 道路を汚してしまった場合は、速やかに撤去・清掃を行いましょ
- ④ 盗難防止のため、作業中は近隣の人も力ギをかけたましょ



事務局のつぶやき

4月に農政課に着任し、農家さんとの関わりが増え、農業への興味がわき、最近では、趣味と実益を兼ね、各地の特産品や旬の農産物を味わうために、各地の直売所等を訪ねることが休日の楽しみとなっています。

また、最近のもう一つのマイブームは旅行先などで穀倉地帯の田んぼにそびえたつひととき大きな建物「カントリーエレベーター」を見つけ写真を撮ること。目立つからこそ各地域の「キャッチコピー」や「キャラクター」が書いてあり、特徴があつて、興味深いのです。

今まで、何気なく見逃していた景色や意識していない日常の営みの中に、営農に関するものがたくさんあり、それらのおかげで恵み多い生活ができていますと改めて感じるこの秋。黄金に色づいてきた一面の田んぼを見て、なんだか例年以上に農家のみなさんへの感謝の気持ちがわくとともに、改めて安曇野についていところだなあとテンションがあがっている私です。